

PEACE GOURD



9条の会・養老
会報、第41号
2023年5月27日
(部内資料)

”ピース・ガード” 「平和の瓢箪」

三線の演奏を楽しみました。 第8回総会より

9条の会・養老設立7周年第8回総会 2023年4月29日広幡公民館にて

コロナが少し落ち着いた中、昨年に引き続き対面で総会を開きました。大型連休初日の為か、参加者は19名と少なめでしたが、活動報告、総括、会計報告、監査報告を確認しました。新年度の世話人は新たな立候補者がいないため、留任となり新年度の活動方針を確認しました。詳しくはこの会報に資料として掲載します。

記念講演は、沖縄出身の上運天有二

(かみうんてんゆうじ) 氏の三線の演奏とお話でした。上運天氏は1961年、宜野湾市普天間の出身です。高校卒業後、名古屋に就職し、独立して造園業を営む中、沖縄民謡同好会と出会い本格的に三線を習い、三線教室を開くまでとなります。愛知沖縄県人会副会長、美ら海沖縄大使などを歴任。



子供の頃は、産まれた時からいつも周りに米兵と米軍基地がありそれがあたり前の生活でした。学校から帰って、海へ遊びに行く時も、まっすぐいけば7～8分の距離を金網の周りをぐるっと回って30分程かかって行ったそうです。ベトナム戦争の時は、沖縄から爆撃機やヘリが出撃して、始終授業が中断したそうです。

本土に来てから、「1972年に沖縄は本土復帰したというのに、今の沖縄の基地負担はあまりにもおかしい」と気付き、勉強したそうです。昔、琉球王国は戦(いくさ)ではなく、周りの国と仲良くして交易によって、成り立っていました。軍隊も武器も無く、役人として出世するには剣の腕前でなく、他国からの客をもてなすための、三線や舞踊の腕が大事でした。それからだんだんと庶民にも三線が広まっていったそうです。

「安里屋ユンタ」「ちんさぐの花」「島唄」「沖縄を返せ」…など沢山の歌と演奏にも堪能した楽しいひと時でした。



庄巻の
三線速弾き

世話人中野一美



町内下高田

♪ ♪ 戦後は続くよ どこまでも ♪ ♪

「2023 西濃憲法集会」のレポート

2023年 5月3日（大垣市情報工房スィンクホール）

平和のつくりかた

～ミサイルか 9条か～

伊藤千尋さんの講演から

レポート：世話人 問山尚義

伊藤さんのお話は多岐にわたりました。ウクライナ侵略、戦後の「九条」の制定過程、世界や日本各地にある「九条の碑」など、ミサイルでは戦争は止められない、九条しかない。と結び大きな拍手に包まれました。以下要約です。

伊藤千尋さんプロフィール

1949年、山口県生まれ、朝日新聞記者を経て現在はフリーの国際ジャーナリスト。NGO「コスタリカ平和の会」共同代表。「九条の会」世話人。取材執筆の傍ら全国で講演を行う。

公式HPは<https://www.itochihiro.com/>



▼「国を守る」では国は守れない。

国境線を引き向こうは敵、こちらは守るべき「国」。この発想にとらわれている限り国は守れない。国境を超える発想が必要。九条は国境を超える。

▼石垣島に新たに駐屯した自衛隊員が住民に言った言葉「私たちが守るのは国家である。住民を守るのは自治体の仕事だ。」

▼” 憲法に9条を織り込んだのは日本側の提案” に決着が付きつつある。

2016年にマッカーサーの米国議会証言が見出され、当時の首相、幣原喜重郎がマッカーサーに9条を提案、GHQが「押し付けた」という形態を日本側から持ちかけたそうです。

※幣原：「今世界は（軍備全廃を叫ぶ）狂人を必要としている」、今の日本にはそれができるかも知れない。

※幣原：「世界は私たちが夢想家と笑うでしょう。でも100年後には予言者と呼ばれるでしょう。」（「マッカーサー回顧録」より）

◆こうした幣原の発想をもたらしした根源には原爆投下がありました。核兵器の登場によって戦争のモードが「国家対国家」から「文明対戦争」になってしまった。

この「夢想家」発言を聞いて、ジョン・レノンの「イマジジン」を連想した人が、私を含めて何人か会場内にいたのではないかと思います。♪ You may say “I’m a dreamer” ♪

一二三 礼（ひふみれい）さんの唄と演奏（キーボード）

伊藤さんの講演に先立って、シンガー 一二三礼さんの唄が披露されました。以下、当日の演奏曲です。

- ♪ What a wonderful world. ♪
- ♪ やつらの足音のバラード ♪
- ♪ 死んだ男の残したものは ♪
- ♪ われ問う ♪
- ♪ 翼をください ♪
- ♪ 一本の鉛筆 ♪
- ♪ 軟弱もの ♪
- ♪ 世界に求む ♪

1965年の作、ベトナム反戦運動の中で唄われた曲です。
作詞、谷川俊太郎
作曲、武満徹
フォークシンガーではない意外な巨匠の作です。



一二三礼さんの
Face book



▼なるほどプロと思わせる圧倒的な声量。特に「死んだ男の残したものは」の演奏は、21世紀の今、意外であり、私の世代には嬉しくもありでした。

大垣別院「春の法要」平和展を開催しました！ 報告：佐竹 哲（世話人）

去る5月15日より18日まで大垣別院にて平和展(パネル展示)を開催しました。毎年、別院では「春の法要」で「全戦争犠牲者追弔法要」が執行され、併せて本堂内で平和展を開催しています。私はその企画スタッフをしており、紙面を借りてご報告させていただきます。

今年は、展示テーマを『銃後』という戦争の加害」とし、非戦闘員(一般人)の後方支援、いわゆる「銃後」の戦争加害を見つめる展示構成にしました。これまでは「銃後」の人たちを、空襲体験などの戦争被害者の側面

で捉えることが多かったのですが、実際には「銃後」の支えによって戦争は継続できるのであって、直接に銃を撃たなくても間接的な戦争加害者の側面があることをお伝えしたいと考えました。「国防婦人会」、「青年団」、学校・自治会・寺院等が積極的に地域の青年の出征を勧めて万歳連呼で見送り、本人の入隊拒否の意志があっても、それは許されない空気が作られました。戦地にたくさんの慰問袋を作って送ったり、戦死者の葬式を一般よりも盛大に執行したり、様々な「銃後」の戦争協力がありました。当時のことをよく知っている方の多くは既に亡くなっていますが、以前より私は何人かの戦争体験者を取材したことがあります。そこで一番よく語られるのは「あの時は仕方がなかった。」という言葉です。もちろん、一人でその時代の空気に逆らうことは、容易ではありません。もし私があその時代に生きていたなら、やはり時代の空気に抗うことが出来たかどうかは自信がありません。しかし、後に同じように「あの時は仕方がなかった。」と済ませるならば、再び同じ過ちを繰り返すことになるのではないのでしょうか。

今、政府は2023年度から5年間で約43兆円という莫大な防衛費を見込んでおり、着々と戦争体制の準備をしています。先のG7広島サミットでは、ウクライナのゼレンスキー大統領を招き、岸田首相は自衛隊車両100台を提供する軍事支援を約束しました。結果的に日本が加入するG7側とロシア・中国側の対立がより深刻になるサミットになりました。世界唯一の原子爆弾被爆地の広島でこのような軍拡・対立サミットをすることは、広島原爆で亡くなった14万人の平和の願いを踏みにじる傲慢な行為に他なりません。私たちは、言論の自由が保障されている今、声を出さず、後に「あの時は仕方がなかった。」と言わなければならないならば悲しいことです。そして子どもたちに重い宿題を残して先に無責任に死んでいくこととなります。当会員同士で力を合わせて誰にも伝わるように非戦平和の声を上げたいと思います。

大垣別院・平和展は毎年、開催していますが、今回は参拝者に次のように直接、感想をお話いただいたことが印象に残りました。「正直、銃後の人も加害者であるという感覚はありませんでした。教えてもらえて良かった」と。来年もぜひ開催したいと思います。



当日の大垣別院・平和展の様子



戦地に送った慰問袋
〔平和展の展示品〕

第8回総会資料

9条の会・養老 会計報告

2022年1月1日～12月31日

2023年度の活動方針案

- ①「岸田9条改憲」「防衛3文書」についての学習会を沢山行い、発信していく。
- ②会の趣旨に賛同してくれる仲間を増やしていく。
- ③2カ月に1度をめどに会報の発行を続ける。
- ④会員相互の親睦をはかる行事を行う。
- ⑤今年あるかもしれない衆議院選挙では、できる限り護憲政党を応援し、改憲政党の2/3を阻む。

取入		支出	
前年度繰越金	¥138,817	広報 会報6回分印刷費	¥12,000
個別のカンパ、延べ5人	¥13,850	チラシ1回印刷費	¥1,500
総会会場カンパ箱、	¥5,100	活動費 総会会場費	¥1,810
入会金 川本美穂氏	¥1,000	講師 お礼	¥5,000
		講師 お菓子代	¥2,100
		西濃憲法集会協賛金	¥5,313
合計	¥158,767	合計	¥27,723
新年度へ繰越			¥131,044


会計 中野一美 

会計監査報告

2022年度会計監査をしたところ、正確かつ適正であることを認めます。

2023年 3 月 28 日

監査

堀江法夫 

◇今後の活動予定と各団体のイベント予定◇

★2023 第65回 岐阜県母親大会

→別紙チラシあり

日時：6月25日(日) 午前10時～

場所：飛騨市文化交流センター(飛騨市古川町)

内容：講演「教育の今と未来」、講師 前川喜平氏(前・文科省事務次官)

主催：同実行委員会(岐阜県教育会館 305) Tel(Fax) 058-242-9816



★中村 哲 氏を偲ぶ映画上映と講演：「荒野に希望の灯をともし」→別紙チラシあり

日時：6月25日(日) 午後1時15分～

場所：愛知県江南市文化会館大ホール

主催：パジャワール会 名古屋(Tel) 080-3507-7630 (社本千香)



★「もの言う」自由を守る会 7周年総会

→別紙チラシあり

日時：7月2日(日) 午後2時～

場所：スイトピアセンター学習館2F(大垣市室本町 5-51)

内容：講演「『もの言う』自由と自己情報コントロール権」講師 實原隆志 南山大学教授

主催：「もの言う」自由を守る会

★大垣警察市民監視違憲訴訟 控訴審 第5回口頭弁論

日時：7月13日(木) 午後2時

場所：名古屋高裁 1号法廷

郡上市白鳥町にある
天台宗、薬王山正法寺
の「憲法9条の碑」→
5月4日訪れてきました。

問山



編集後記

実出席を伴う企画としては、約一年ぶりの第8回総会を開催し、本会報では▼総会報告▼西濃憲法集会の報告▼別院での平和展、の三題としました。

総会では上運天さんの話題の豊富さ、芸達者ぶりに驚かされ、軽トラックに機材を積み移動されている様子に親しみを感じた次第です。何か新たなエンターテイナーを発掘したような気にさせた総会でした。

ゼレンスキー大統領という千両役者を得て、サミット人気が出たところで総選挙か?といった話も聞こえてくる中、今年の活動を始動させねばと思います。

G7広島サミットと言えば「広島ビジョン」なる文書が発表されましたが、驚きと落胆で一杯です。それどころか「広島ビジョン」の陰で、日米韓の「核共有」の話もされたとの報道もあり、被爆地を冒瀆する行為ではないですか。

世話人 問山尚義

連絡先

「9条の会・養老」世話人

090-9183-0444 中野一美(代表)

090-9894-0444 佐竹 哲

090-2348-0719 問山尚義

090-8733-0090 禿 憲正

fax(問山)

0584-71-8746

E-mail(問山)

toiyama@ninus.ocn.ne.jp